

PointMarker 利用者の手引

Version 2025年10月版 v5.1

はじめに

PointMarkerは、ハイキングマップの画像からポイント・スポット・ルートをマーキングし、座標データを管理するWebアプリケーションです。登山計画の作成や、実際に歩いたルートの記録、さらに特徴的なスポット情報の管理にも活用できます。

v5.1の主要改善点：

- ルート編集における中間点のドラッグ移動機能を追加
- ポイントID表示チェックボックスによる表示制御機能を実装
- 開始・終了ポイント変更時の中間点クリア確認ダイアログ
- バリデーション機能の統合と強化
- ズーム・パン機能による地図の詳細確認
- より直感的で安定した操作性

すべての処理はブラウザ内で完結し、プライバシーを保護しながら安全にご利用いただけます。

システム要件

対応ブラウザ

- 推奨**：Chrome 86以降（File System Access API対応）、Edge 86以降
- 対応**：Firefox 最新版、Safari 14以降（基本機能利用可能）
- 必要な機能**：HTML5 Canvas、FileReader API、ES6モジュール対応

重要：ローカルサーバーの起動

ES6モジュールを使用しているため、**必ずローカルサーバー経由**でアクセスしてください：

```
# Python (推奨)
python -m http.server 8000

# または Node.js
npx serve .
```

その後ブラウザで <http://localhost:8000> を開いてください。

注意：ファイルを直接ブラウザで開く（file://）とCORSエラーで動作しません。

ファイル形式

- 入力画像**：PNG形式のみ
- データ保存**：JSON形式

ネットワーク

- ・ インターネット接続不要（ローカル処理のみ）
- ・ すべてのデータはローカルファイルに保存
- ・ 外部サーバーへのデータ送信は一切なし

新機能：Favicon対応

- ・ ブラウザタブに ♡ ピンアイコンが表示されます
- ・ 404エラー (favicon.ico not found) を解消
- ・ PointMarkerの視覚的アイデンティティを強化

基本的な使い方

1. アプリケーションの起動

1. ローカルサーバーを起動（上記参照）
2. ブラウザで <http://localhost:8000> にアクセス
3. PointMarkerのメイン画面が表示されることを確認
4. ブラウザタブに ♡ ピンアイコンが表示されることを確認

2. 地図画像の読み込み

1. **「PNG画像を選択」**ボタンをクリック
2. ハイキングマップのPNG画像ファイルを選択
3. 画像が自動的にキャンバスに表示されることを確認

File System Access API対応ブラウザ（Chrome/Edge）の場合：

- ・ ファイル選択ダイアログが表示されます
- ・ 保存時にファイル名・保存場所を指定可能

注意事項：

- ・ PNG形式の画像のみ対応（JPEG、GIF等は非対応）
- ・ 画像は表示領域に合わせて自動スケーリングされます
- ・ アスペクト比は保持されます
- ・ リサイズ処理が最適化され、より滑らかな動作を実現

3. レイアウトの選択

画面上部で2つのレイアウトから選択できます：

- ・ **サイドバー**（推奨）：地図とコントロールパネルが横並び表示
- ・ **オーバーレイ**：コントロールパネルが地図上に半透明で重ね表示

4. 編集モードの選択

3つの編集モードから用途に応じて選択できます：

- ・ **ポイント編集**：地図上の重要ポイント（山頂、山小屋、分岐点など）を管理

- **ルート編集**：歩行ルートの詳細記録・計画作成
- **スポット編集**：観光スポット、景勝地、特徴的な場所の記録

ズーム・パン機能（新機能）

地図の拡大・縮小

地図を詳細に確認したいときは、ズーム機能を使用します：

1. **「ズームイン」**ボタン：地図を拡大（0.2倍ずつ）
2. **「ズームアウト」**ボタン：地図を縮小（0.2倍ずつ）
3. **ズーム範囲**：1.0倍（通常表示）～5.0倍（最大拡大）

使用例：

- 中間点を正確に配置したい→ズームインで詳細表示
- 全体のルートを確認したい→ズームアウトで広範囲表示

地図の移動

拡大した地図の表示位置を移動するには、パン機能を使用します：

1. **上下左右のボタン**：表示位置を50ピクセルずつ移動
2. **直感的操作**：矢印方向に地図が移動

使用例：

- 画面外のエリアを確認したい→パンボタンで表示位置を調整
- 特定のポイントを画面中央に→上下左右ボタンで微調整

初期状態に戻す

ズーム・パン操作を行った後、元の表示に戻したいときは：

1. **「リセット」**ボタン：ワンクリックで初期表示に復帰
2. すべての変換がクリアされ、地図が最初の状態に戻ります

注意事項：

- ズーム・パン操作は表示のみを変更します
- ポイント・スポット・ルートのデータには影響しません
- 入力ボックスの位置は自動的に更新されます

ポイント編集機能

ポイントの配置

1. **「ポイント編集」**モードを選択（デフォルト）
2. 地図上の任意の場所をクリック
3. 赤い円マーカーが表示され、**動的ポップアップ入力ボックス**が自動表示
4. **自動フォーカス**：新規ポイント作成時、カーソルが末尾に自動設定
5. ポイントIDを入力（X-nn形式：例 A-01、J-12）

ポイントID管理

- **形式:** X-nn (英大文字1桁-数字2桁) 例 : A-01, B-15, Z-99
- **自動補正:** 統一されたValidatorsクラスによる処理
 - 全角→半角変換、小文字→大文字変換、0埋め処理
- **入力制御:**
 - 入力中 (typing) : 補正処理なし、リアルタイム表示
 - フォーカス離脱時 (blur) : 自動補正実行

ポイントの編集・移動・削除

- **編集:** 既存ポイントクリック→対応する入力フィールドにフォーカス
- **移動:** ドラッグ&ドロップによる位置変更 (ポイント編集モードのみ)
 - 統合ドラッグ処理により、より滑らかで安定した移動を実現
 - オブジェクト検出が改善され、正確なドラッグ開始が可能
- **削除:** Escapeキー、または空入力でblur

ポイント編集時のUI表示制御

- **ポイントIDポップアップ:** 表示・編集可能
- **カーソル表示:** crosshairカーソルで一貫した操作感
- **統一スタイリング:** 統一された関数による視覚的フィードバック

ポイントID表示の制御 (改良)

ポイントIDポップアップの表示/非表示を切り替えることができます :

1. 「**ポイントIDを表示**」 チェックボックス : ルート編集パネル内に配置
2. **チェックオン** : すべてのポイントIDポップアップが表示されます
3. **チェックオフ** : すべてのポイントIDポップアップが非表示になります

自動制御 :

- ポイント編集モード切り替え時 : チェックボックスが自動的にオン (オフの場合のみ)
- ルート編集モード切り替え時 : チェックボックスが自動的にオン
- スポット編集モード時 : チェックボックスで表示制御可能

活用例 :

- ルート編集中にポイントIDを確認したい→チェックボックスをオン
- 地図画像を見やすくしたい→チェックボックスをオフ
- スポット編集中にポイントIDを非表示にしたい→チェックボックスをオフ

スポット編集機能 (改良版)

スポットとは

観光スポット、景勝地、展望台、滝、特徴的な地形など、地図上の「場所」を四角形マーカー (■) で記録する機能です。ポイントがID管理による体系的な地点管理に対し、スポットは名前による直感的な場所管理に適しています。

スポットの配置

1. **「スポット編集」**モードを選択
2. 地図上の任意の場所をクリック
3. **四角形マーカー（■）**が青色で表示され、**動的スポット名入力ボックス**が自動表示
4. **自動フォーカス**：新規スポット作成時、カーソルが末尾に自動設定
5. スポット名を入力（例：「展望台」「白山神社」「清水の滝」）

スポット名管理

- **入力制御**: 最大10文字制限、自由な名前設定
- **リアルタイム表示**: 文字入力中の即座反映
- **trim処理**: 空白文字の自動除去
- **統合管理**: SpotManagerクラスによる効率的なデータ管理

スポットの編集・移動・削除

- **編集**: 既存スポット（■）クリック→対応する入力フィールドにフォーカス
- **移動**: 統合ドラッグ処理による位置変更（スポット編集モードのみ）
- **削除**: Escapeキー、または空入力でblur

スポット編集時のUI表示制御

- **ポイントID попапアップ**: チェックボックスで表示制御可能
- **スポット入力ボックス**: 表示・編集可能
- **カーソル表示**: crosshairカーソルで統一された操作感

スポットの視覚表示（更新）

- **マーカー形状**: 四角形（■）
- **色**: 青色系（#0066ff、ポイントの赤色と明確に区別）
- **サイズ**: ポイントより大きめ（12px、視認性重視）
- **描画処理**: CanvasRenderer.drawSquare()による最適化された描画

スポット一括操作

- 「**スポットをクリア**」: すべてのスポットを即座に削除（赤色ボタン）
- 「**スポットをJSON出力**」: スポットデータをJSON形式で保存（緑色ボタン）
- 「**スポットのJSON読み込み**」: 既存スポットJSONからデータ復元

ルート編集機能

ルート編集の準備

1. 事前にポイント編集でルートの開始・終了点を配置
2. **「ルート編集」**モードに切り替え
3. **UI制御**：既存ポイント・スポットの編集が自動的に制限されます

ルート編集時のUI変更

完全な視覚的制御 :

- **ポイントIDポップアップ**: チェックボックスで表示制御可能（背景灰色）
- **スポット入力ボックス**: 完全に非表示
- **通常ポイント**: 統一スタイル関数による灰色表示
- **開始・終了ポイント**: 完全白背景 + 青枠線で強調表示
- **無効化表示**: 全入力フィールドがdisabled状態

開始・終了ポイント入力とバリデーション（強化版）

統合バリデーション機能 :

1. **形式チェック**: Validatorsクラスによる厳密なX-nn形式検証
2. **存在チェック**: 既存ポイントIDとの照合
 - 存在しないポイント → 統一エラー表示関数による赤枠エラー
 - 詳細ツールチップでエラー理由説明
3. **重複チェック**: 開始・終了ポイント同一値検出
 - 重複時 → **両フィールド同時に赤枠表示**（強化された検証）
 - 統一メッセージによる注意喚起

統一エラーフィードバック :

- **形式エラー**: 薄いピンク背景 + 赤枠 + 「X-nn形式で入力してください」
- **存在エラー**: 赤枠のみ + 「ポイントID「〇〇」は存在しません」
- **重複エラー**: 両フィールド赤枠 + 「開始ポイントと終了ポイントは異なるポイントIDを指定してください」

開始・終了ポイント変更時の中間点クリア（新機能）

ルートの開始ポイントまたは終了ポイントを変更する際、既存の中間点をどうするか確認できます：

1. **開始ポイントまたは終了ポイントを変更**
2. **中間点が存在する場合**：確認ダイアログが表示されます
 - メッセージ例：「開始ポイントを「A-01」から「B-02」に変更します。既存の中間点（5個）をクリアしますか？」
3. **「はい」を選択**：中間点のみがクリアされます（開始・終了ポイントは保持）
4. **「キャンセル」を選択**：中間点はそのまま維持されます

活用例 :

- ルート全体を作り直したい→「はい」で中間点をクリア
- 開始・終了ポイントだけ修正したい→「キャンセル」で中間点を保持
- 誤って変更してしまった→「キャンセル」で元に戻す

ルートの作成手順

1. **開始ポイント欄**に開始点のID（例：A-01）を入力
2. **終了ポイント欄**に終了点のID（例：B-05）を入力
3. **自動バリデーション**：統合検証システムによる即座の検証
4. **視覚フィードバック**：指定されたポイントが自動的に白背景 + 青枠で強調

5. 地図上でルートの中間点をクリックして順次配置
6. 橙色の菱形で中間点が表示され、ルートラインで接続

中間点のドラッグ移動（新機能）

ルート作成後、中間点の位置を微調整できるようになりました：

1. ルート編集モードであることを確認
2. **橙色の菱形（中間点）**にマウスを近づける（10ピクセル以内）
3. カーソルがcrosshairに変わることを確認
4. マウスボタンを押したままドラッグ：中間点が移動します
5. マウスボタンを離す：新しい位置に中間点が固定されます

重要なポイント：

- クリック：新しい中間点を追加
- ドラッグ：既存の中間点を移動
- ドラッグ中：中間点数は変化しません
- 移動のみ：中間点が削除されることはありません

活用例：

- ルートを微調整したい→中間点をドラッグ移動
- より正確なルートを描きたい→ズームインしてから細かく調整
- 間違った位置に配置した→すぐにドラッグで修正

注意事項：

- 中間点の削除機能は現在ありません（「中間点をクリア」で全削除のみ）
- ドラッグ操作はルート編集モードでのみ有効です

ルート情報表示

- **中間点数**: 開始・終了ポイント入力エリア内に表示（終了ポイント入力フィールドの直下）
- **リアルタイム更新**: 中間点追加・削除に応じて自動更新

ルートデータの操作

- 「中間点をクリア」：全中間点を削除（開始・終了ポイントは保持）
- 「ルートをクリア」：全中間点と開始・終了ポイント設定を削除（赤色ボタン）
- 「ルートをJSON出力」：
 - 統合検証システムによる総合チェック→エラーがあれば詳細メッセージ表示
 - ルートデータをJSON形式で保存（緑色ボタン）
- 「ルートのJSON読み込み」：既存ルートJSONからデータ復元・UI再構築

ファイル操作（改良版）

自動ファイル名生成

保存時のファイル名は自動生成されます：

- ポイント: {画像名}_points.json
- ルート: {画像名}_route_{開始ポイント}_to_{終了ポイント}.json
- スポット: {画像名}_spots.json

例 :

- hakusan_points.json
- hakusan_route_A-01_to_B-05.json
- hakusan_spots.json

高度な保存機能 (Chrome/Edge)

File System Access API対応ブラウザでは :

- ファイル名・保存場所の任意指定
- 既存ファイルの上書き確認
- より直感的なファイル操作
- FileHandlerクラスによる統合されたファイル処理

非対応ブラウザ (Firefox/Safari) :

- 従来のダウンロード機能で保存
- ブラウザのダウンロードフォルダに自動保存

読み込み機能

1. 対応するJSONファイルを選択
2. **座標変換**: CoordinateUtilsクラスによる精密な座標変換
3. **UI再構築**: 入力ボックス・状態表示も完全復元
4. **エラーハンドリング**: 統合されたエラー処理による安全な読み込み

画面の見方

メイン画面の構成

- **キャンバス領域**: 地図画像とマーカーの表示
- **編集モード選択**: ポイント・ルート・スポット編集の切り替え
- **コントロールパネル**: 各モード専用の操作ボタン群
- **動的ポップアップUI**: ポイント・スポット位置に表示される入力ボックス
- **ステータス表示**: ポイント数・中間点数・スポット数のリアルタイム表示
- **ズーム・パンコントロール**: 地図の拡大縮小・移動操作ボタン

マーカーの色分け・視覚表示 (更新)

- **赤い円**: 配置したポイント (IDラベル付き)
- **青い四角形 (■)**: 配置したスポット (名前ラベル付き)
- **橙色の菱形**: ルートの中間点 (ドラッグ移動可能)
- **ルートライン**: 開始→中間点→終了を結ぶ連続線

編集モード別の表示制御 :

- **ポイント編集**: ポイントIDポップアップ表示（チェックボックスで制御）、スポット入力ボックス非表示
- **ルート編集**: ポイントIDポップアップ表示（チェックボックスで制御、背景灰色）、スポット入力ボックス非表示
- **スポット編集**: ポイントIDポップアップ表示（チェックボックスで制御）、スポット入力ボックス表示

ボタンの色分け統一

全編集モード共通 :

- **クリア系**: 赤色（危険操作を表現）
- **JSON出力系**: 緑色（成功・完了を表現）
- **補正系**: 黄色（注意喚起）

この統一された色分けにより、操作の種類が直感的に理解できます。

レスポンシブ対応

- **デスクトップ**: サイドバーレイアウト推奨
- **モバイル（768px以下）**: レイアウトの自動調整
- **ウィンドウリサイズ**: ResizeHandlerクラスによる最適化されたリサイズ処理

データ構造

ポイントJSON形式

```
{
  "totalPoints": 3,
  "imageReference": "sample.png",
  "imageInfo": {
    "width": 1920,
    "height": 1080
  },
  "points": [
    {
      "index": 1,
      "id": "A-01",
      "imageX": 245,
      "imageY": 387,
      "isMarker": false
    }
  ],
  "exportedAt": "2025-09-14T10:30:00.000Z"
}
```

ルートJSON形式

```
{
  "routeInfo": {
```

```

        "startPoint": "A-01",
        "endPoint": "B-03",
        "waypointCount": 5
    },
    "imageReference": "sample.png",
    "imageInfo": {
        "width": 1920,
        "height": 1080
    },
    "points": [
        {
            "type": "waypoint",
            "index": 1,
            "imageX": 320,
            "imageY": 450
        }
    ],
    "exportedAt": "2025-09-14T10:45:00.000Z"
}

```

スポットJSON形式（更新）

```

{
    "totalSpots": 2,
    "imageReference": "sample.png",
    "imageInfo": {
        "width": 1920,
        "height": 1080
    },
    "spots": [
        {
            "index": 1,
            "name": "展望台",
            "imageX": 580,
            "imageY": 320
        }
    ],
    "exportedAt": "2025-09-14T11:00:00.000Z"
}

```

活用例

総合的な登山計画の作成

1. **ポイント編集**：主要ポイント（山頂、山小屋、分岐点等）をX-nn形式で体系管理
2. **スポット編集**：観光スポット（展望台、滝、神社等）を名前で直感管理
3. **ルート編集**：計画ルートを中間点で詳細設定・統合バリデーション確認
4. **ズーム機能活用**：詳細箇所を拡大して正確な位置調整
5. **中間点調整**：ドラッグ移動機能で実際の道に沿ったルート作成

6. 統合管理：3種類のデータを組み合わせて包括的な情報管理

実歩行記録の詳細記録

1. **ポイント記録**：ナビゲーション上重要なポイントを体系的に記録
2. **スポット記録**：実際に立ち寄った観光地・印象的な場所を名前で記録
3. **ルート記録**：実歩行ルートを中間点で精密再現
4. **詳細調整**：ズームイン機能で細かい位置を正確に記録
5. **微調整**：中間点ドラッグ移動で実際の道筋に合わせる
6. **精密調整**：改良されたドラッグ&ドロップ機能で位置を精密調整

地域情報の体系的管理

1. **ポイント管理**：管理対象エリアの重要な地点をID体系で管理
2. **スポット管理**：観光資源・特徴的な場所を名前で直感的に管理
3. **ルート管理**：推奨ルート・避難ルートを詳細設定
4. **品質管理**：統合バリデーション機能による一貫性確保
5. **視認性向上**：ポイントID表示チェックボックスで必要に応じて表示制御

チームでの情報共有

1. **標準化**：統一されたフォーマットによるデータ管理
2. **データ交換**：JSON形式によるチーム間データ共有
3. **役割分担**：
 - ポイント：ナビゲーション担当者
 - スポット：観光情報担当者
 - ルート：ルート計画担当者
4. **統合利用**：各担当が作成したデータを統合活用

よくある質問・トラブルシューティング

Q: CORSエラーが発生して動作しません

A: **最重要**：必ずローカルサーバー経由でアクセスしてください。

```
python -m http.server 8000
# ブラウザで http://localhost:8000 を開く
```

ファイルを直接開く（file://）は動作しません。

Q: favicon.icoの404エラーが表示されます

A: v5.0以降で解決済みです：

- ♀ ピンアイコンが自動的に設定されます
- 404エラーは発生しなくなりました
- ブラウザタブでPointMarkerが識別しやすくなりました

Q: スポット編集時にポイントIDポップアップが表示されます

A: v5.1では、チェックボックスで制御可能になりました：

- **スポット編集モード**: 「ポイントIDを表示」チェックボックスで表示/非表示を切り替え
- **チェックオフ**: ポイントIDポップアップが非表示
- **チェックオン**: ポイントIDポップアップが表示（必要に応じて）

Q: ルート編集で開始・終了ポイントにエラーが出ます

A: 統合バリデーション機能による検証結果です：

- **存在エラー**: 指定したポイントIDが存在しない → 先にポイント編集でポイントを作成
- **重複エラー**: 開始・終了ポイントが同じ → 異なるポイントIDを指定
- **形式エラー**: X-nn形式でない → 正しい形式で入力（例：A-01）

Q: ポイントID名が重複してエラーが出ます

A: JSON出力時に統合検証を実行します：

- エラーメッセージで重複するIDを確認
- 該当するポイントのIDを修正してから再度出力
- 「ポイントID名の補正」で一括整理も可能

Q: 中間点をドラッグしようとしても新しい中間点が追加されます

A: 中間点の近く（10ピクセル以内）でドラッグを開始してください：

- **正確な位置でクリック**：中間点の菱形マーカーの真上または近く
- **カーソルの確認**：crosshairカーソルに変わることを確認
- **ゆっくりドラッグ**：マウスを動かしすぎないように注意

Q: 開始ポイントを変更したら中間点が消えました

A: v5.1の新機能です：

- 開始・終了ポイント変更時に確認ダイアログが表示されます
- 「**はい**」を選択した場合：中間点がクリアされます
- **中間点を保持したい場合**：「キャンセル」を選択してください
- この機能により誤操作を防止しています

Q: ドラッグ&ドロップが滑らかでない

A: v5.0以降で大幅に改善されました：

- **統合ドラッグ処理**: DragDropHandlerクラスによる最適化
- **オブジェクト検出改善**: より正確で高速な検出
- **滑らかな移動**: フレームレート向上による快適な操作

Q: ポイントを移動できません

A: 編集モードを確認してください：

- **ポイント移動**: ポイント編集モードでのみ可能
- **スポット移動**: スポット編集モードでのみ可能
- **中間点移動**: ルート編集モードでのみ可能
- **ルート編集モード**: ポイント・スポット移動は制限されます

Q: スポットマーカーが星形ではなく四角形です

A: v5.0で仕様変更されました :

- **新形状**: 四角形 (■) 青色
- **旧形状**: 星形 (★) 黄色
- **理由**: ポイントとの視認性向上、描画パフォーマンス改善

Q: 動作が重く感じます

A: v5.0以降でパフォーマンスが大幅改善されました :

- **コード効率化**: 重複処理の削除、統合クラス化
- **描画最適化**: 必要時のみの再描画
- **メモリ管理改善**: 効率的なオブジェクト管理

Q: JSONファイルが3種類あって混乱します

A: ファイル名で区別してください :

- ***_points.json**: ポイントデータ (X-nn形式ID管理)
- ***_spots.json**: スポットデータ (名前管理)
- ***_route_*.json**: ルートデータ (開始_to_終了形式)
- 各データは独立して管理・読み込み可能

Q: ズーム・パン操作後、ポイントが画面外に消えました

A: リセット機能を使用してください :

- 「リセット」ボタン : ワンクリックで初期表示に復帰
- ポイント・スポット・ルートのデータは保持されています
- 表示だけが初期状態に戻ります

パフォーマンスガイド (改良版)

推奨使用環境

- **ポイント数**: 200個以下で最適性能 (旧版 : 100個)
- **スポット数**: 100個以下で最適性能 (旧版 : 50個)
- **ルート中間点**: 500個以下で最適性能 (旧版 : 200個)
- **画像サイズ**: 4000x4000ピクセル以下を推奨 (旧版 : 2000x2000)
- **ブラウザ**: Chrome/Edge最新版で最高性能

大量データ使用時

- **混在使用**: ポイント・スポット・ルートを同時大量使用時でも安定動作

- **メモリ管理改善:** より効率的なメモリ使用により安定性向上
- **定期保存:** 作業中は各機能で定期的にJSON保存（推奨）
- **ズーム活用:** 大量データ時はズームインで作業領域を限定

パフォーマンス改善内容

- **統合処理:** 類似機能の統合によりCPU負荷軽減
- **効率化:** リファクタリングによる処理速度向上
- **安定性:** エラーハンドリング改善による安定動作
- **ズーム・パン最適化:** GPU加速による滑らかな表示

データバックアップ・管理

推奨バックアップ手順

1. **機能別保存:** ポイント・スポット・ルートを個別にJSON保存
2. **統合管理:** 同一地図の全データを同一フォルダで管理
3. **バージョン管理:** 作業節目での複数バージョン保存
4. **自動化:** 統合ファイル処理により効率的なバックアップ

ファイル管理のコツ

- **命名規則:**
 - {地図名}_points_{作成日}.json
 - {地図名}_spots_{作成日}.json
 - {地図名}_route_{開始}to{終了}_{作成日}.json
- **フォルダ整理:** 地域別・目的別でのフォルダ分類
- **セット管理:** 関連する3種類のJSONファイルをセットで管理

プライバシーとセキュリティ

データの安全性

- **完全ローカル処理:** すべての処理はブラウザ内で完結
- **外部送信なし:** インターネット接続や外部サーバーへのデータ送信は一切なし
- **ローカル保存のみ:** データはローカルファイルのみに保存
- **個人情報保護:** 個人情報の収集や追跡は一切行いません

セキュリティ対策

- **ファイル形式制限:** PNG・JSON形式のみ受け入れ、不正ファイル拒否
- **統合検証:** Validatorsクラスによる一貫したセキュリティ対策
- **XSS対策:** 動的コンテンツの適切なエスケープ処理
- **入力検証:** 厳密なバリデーションによる不正データ排除

困ったときは

基本的なトラブル解決

1. ブラウザ更新: Ctrl+F5またはCmd+Rでページ更新
2. ローカルサーバー確認: <http://localhost:8000> でアクセスしているか確認
3. ブラウザ変更: Chrome/Edgeへの切り替えを推奨
4. キャッシュクリア: ブラウザキャッシュをクリアして再読み込み
5. リセット機能: ズーム・パン操作が原因の場合はリセットボタン使用

詳細情報

- 操作方法がわからない場合は、この手引を再度ご確認ください
- 機能の詳細仕様については「funcspec-202510.md」をご参照ください
- 開発者向け情報については「CLAUDE.md」をご参照ください

最終更新: 2025年10月14日 **バージョン:** 5.1 (2025年10月版) **更新内容:**

- ルート編集における中間点のドラッグ移動機能を追加
- ポイントID表示チェックボックス機能の実装
- 開始・終了ポイント変更時の中間点クリア確認ダイアログ
- ValidationManagerによるバリデーション統合機能の説明
- ズーム・パン機能の詳細な使用方法
- FAQ・トラブルシューティングの更新 (v5.1対応)
- 活用例の充実化 (新機能の具体的な使用シーン)
- 画面の見方の更新 (ズーム・パンコントロール、中間点のドラッグ移動)
- より初心者に優しい説明と具体例の追加